

第4 妊産婦・乳幼児保健指導事業

1 周産期ケース支援会議

(1) 目的

平成28年度から開始した利用者支援事業（母子保健型）は、庁内組織の変更に伴い、令和3年度から健康増進課と家庭児童課の2課で実施している。この2課が連携し、要支援妊婦等への妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行うため、定例で情報共有を行う。

(2) 実施状況

ア 家庭児童課からの継続支援依頼件数 (単位：件)

年度	件数	ケース区分		
		妊娠期		子育て期
		利用者支援	地区支援	地区支援
R 4 年度	646	451	155	40
R 5 年度	670	506	90	74
R 6 年度	662	465	111	86

イ 家庭児童課への情報提供件数 (単位：件)

年度	件数	ケース内訳	
		医療機関連絡票	その他
R 4 年度	491	397	94
R 5 年度	620	518	102
R 6 年度	627	547	80

2 利用者支援事業（母子保健型）

(1) 目的

利用者支援事業の母子保健型は、令和3年度から健康増進課と家庭児童課の2課で、基本型は総合子育て支援センターが担い、相互に連携して妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を実施する。

(2) 従事者（健康増進課のみ）

助産師2名（会計年度任用職員ロングパート1名、ショートパート1名）

地区担当保健師

(3) 支援状況

支援方法及び実施回数

(単位：人)

区分 年度			妊産婦					乳児				幼 児	養 育 者 ・ 家 族	総 計	不 在 ・ 不 明
			妊婦		産婦		小 計	低 体 重 児	新 生 児	そ の 他	小 計				
			ハイ リ ス ク	そ の 他	ハイ リ ス ク	そ の 他									
R 2 年度	電話	人数	302	—	768	172	1, 242	125	340	523	988	—	—	2, 230	899
	面接	実人数	828	913	23	63	1, 827	1	1	79	81	—	—	1, 908	—
		延べ人数	835	917	23	63	1, 838	1	1	80	82	—	—	1, 920	
	訪問	実人数	22	3	298	136	459	115	77	273	465	9	—	933	16
		延べ人数	22	3	307	142	474	117	77	283	477	10	—	961	
R 3 年度	電話	人数	236	—	652	35	923	57	184	446	687	—	—	1, 610	566
	面接	実人数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		延べ人数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	訪問	実人数	23	—	200	41	264	63	42	149	254	—	—	518	3
		延べ人数	24	—	212	42	278	66	44	156	266	—	—	544	
R 4 年度	電話	人数	237	—	465	24	726	31	86	337	454	2	—	1, 182	1
	面接	実人数	1	—	3	1	5	—	1	3	4	—	—	9	—
		延べ人数	1	—	3	1	5	—	1	3	4	—	—	9	
	訪問	実人数	33	4	207	26	270	37	46	155	238	—	2	510	1
		延べ人数	34	4	223	27	288	38	48	165	251	—	2	541	
R 5 年度	電話	人数	274	11	454	19	758	43	82	362	487	—	—	1, 245	4
	面接	実人数	1	—	4	—	5	—	—	2	2	—	—	7	—
		延べ人数	1	—	4	—	5	—	—	2	2	—	—	7	
	訪問	実人数	45	1	249	18	313	57	56	186	299	3	2	617	4
		延べ人数	47	1	268	18	334	63	56	197	316	3	2	655	
R 6 年度	電話	人数	238	—	329	—	567	41	55	296	392	2	—	961	—
	面接	実人数	4	—	—	—	4	—	—	2	2	—	—	6	—
		延べ人数	4	—	—	—	4	—	—	2	2	—	—	6	
	訪問	実人数	9	—	120	—	129	32	27	76	135	—	—	264	30
		延べ人数	9	—	124	—	133	33	27	78	138	—	—	271	

※令和3年度以降は家庭児童課分を除く。令和6年度は従事者（ショートパート助産師1名）減。

3 健康教育

(1) 体験型妊婦教室

ア 目的

妊婦が安心して出産・育児に臨むことができるように、妊娠中の生活、生まれてくる子どもの父親・母親としての心構えや、育児などについての情報提供を行う場とする。

イ 対象

妊婦とその家族

ウ 実施方法

(ア) 会場

岡崎げんき館

(イ) 従事者

保健師、看護師、管理栄養士、歯科衛生士等

エ 内容

(ア) 講話

妊婦の身体、妊娠中の生活、産後の身体、育児、栄養、歯科・口腔衛生、妊娠・授乳期における薬

(イ) ビデオ上映

「沐浴の仕方」、虐待予防DVD『赤ちゃんが泣きやまない』（厚生労働省）

(ウ) 体験コーナー

赤ちゃん人形抱っこ体験、沐浴体験、妊婦体験

オ 周知方法

市政だより・ホームページに掲載、母子健康手帳交付時に配布する「子育てガイドブック」に掲載

カ 講座受講者数

(単位：人)

区分	実施回数	妊婦	夫	祖父母等	計
R 2 年度	—	—	—	—	—
R 3 年度	—	—	—	—	—
R 4 年度	10	303	292	3	598
R 5 年度	12	367	360	4	731
R 6 年度	12	379	375	3	757

※ 令和2年度及び3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により体験型は中止し、Web版両親学級を実施（Web版両親学級のホームページは引き続き掲載）

※ 令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、8月と9月の教室を中止した。

(2) 多胎妊婦教室

ア 目的

多胎妊婦が安心して出産・育児に臨むことができるように、多胎の特徴を踏まえた妊娠中の生活、生まれてくる子どもの父親・母親としての心構えや、育児などについての情報提供を行う場とする。

イ 対象

多胎妊婦とその家族

ウ 実施方法

(ア) 会場

岡崎げんき館

(イ) 従事者

保健師、助産師等

エ 内容

(ア) 講話

妊娠中の生活、出産準備、NICUについて、産後の身体、育児、遊びの紹介、社会資源の紹介

(イ) 動画上映

多胎の赤ちゃんの泣きの特徴、赤ちゃんの抱っこの仕方、授乳方法

(ウ) 体験

赤ちゃん人形抱っこ体験、沐浴体験、妊婦体験

(エ) グループワーク

オ 周知方法

助産師による案内、ホームページ、ちらし

カ 講座受講者数

(単位：人)

区分	実施回数	妊婦	夫	祖父母等	計
R 4 年度	2	9	4	0	13
R 5 年度	4	18	12	3	33
R 6 年度	4	15	12	3	30

※R 4 年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、8月の教室を中止した。

(3) 思春期保健

ア 目的

性・妊娠・出産に関する正しい知識を持ち、生命の大切さ、人と人とのつながりについて学ぶことによって、自分自身だけでなく相手も大事にする心を育てることができる。また、子どもたちに関わる大人に正しい知識の普及・啓発を行い、子どもたちの健全育成を目指す。

イ 実施状況

(ア) 従事者 保健師・保健予防課感染症対策係職員

内 容 生と性の健康教育

(イ) 実施状況の推移

(単位：回・人)

年度	幼児向け		小学生向け		中高生向け		その他		計	
	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
R2	—	—	1	35	18	4,419	—	—	19	4454
R3	1	92	—	—	15	3,061	—	—	16	3153
R4	—	—	—	—	15	3,454	—	—	15	3454
R5	1	15	—	—	20	3,510	—	—	21	3525
R6	—	—	—	—	16	2,945	2	50	18	2995

※放課後等デイサービス等、対象者の年齢が混在する場合、その他として計上。

ウ 思春期教育用物品の貸出し

貸出し機関 小学校、中学校、高等学校

貸出し件数 6件

(4) プレコンセプションケアの推進

ア 目的

プレコンセプションケアとは、性別を問わず、適切な時期に、性や健康に関する正しい知識を持ち、妊娠・出産を含めたライフデザイン（将来設計）や将来の健康を考えて健康管

理を行うという概念のこと。プレコンセプションケアの推進により、周産期死亡率の低下や新生児予後の改善だけでなく、市民の生涯にわたる健康増進を目指していく。

イ 内容

プレコンセプションケア及び健康づくりに関する情報提供。

ウ 実施状況

日時	会場等	内容
9月28日（土）～ 29日（日）	「SDGs・おかざき魅力発信展」 イオンモール岡崎	パネル展示
10月14日（月・祝）	秋のげんきまつり 岡崎げんき館	パネル展示、参考図書展示、胎内体験、赤ちゃん人形抱っこ体験、
10月19日（土）～ 20日（日）	人間環境大学・大学祭	クイズラリー、赤ちゃん人形抱っこ体験、妊婦体験
10月27日（日）	岡崎女子大学・大学祭	クイズラリー、赤ちゃん人形抱っこ体験、妊婦体験
11月2日（土）	愛知学泉大学・大学祭	ポスター展示、プレコンチェックシートの実施
11月16日（土）	「みんなの声でつくる！おかざきこそだて会議 2024」 図書館交流プラザりぶら	パネル展示、参考図書展示、胎内体験、赤ちゃん人形抱っこ体験、ステージイベント「お産劇」、性教育チラシ・ワークシート配布

※その他、企業へのメール配信による情報提供、ホームページによる情報提供を行った。

4 健康相談

(1) 乳児健康相談（まちかどほっと相談室）

ア 目的

乳児の保護者に対して健康相談の場を提供することで、育児不安を軽減できるようにする。

イ 対象

育児に心配のある乳児とその保護者

ウ 実施方法

(ア) 会場

北部地域交流センター、西部地域交流センター、六ツ美市民センター、岡崎げんき館

(イ) 実施回数

年間24回

(ウ) 従事者

保健師、助産師、栄養士

エ 内容

(ア) 育児・授乳相談、離乳食相談、発育・発達相談等

(イ) 乳児の体重測定

(ウ) 各種教室、子育て支援事業、相談窓口等の支援サービスの紹介

オ 周知方法

市政だより・ホームページ、母子健康手帳交付時に配布する「子育てガイドブック」、こんにちは赤ちゃん訪問事業（乳児家庭全戸訪問事業）の際に配布する「こんにちは赤ちゃん」、すくすくメールに掲載、離乳食教室にて案内

カ 実施状況

(ア) 月齢別来所者数

(単位：実件数・%)

区分	0～ 3か月	4～ 6か月	7～ 9か月	10か月～ 1歳未満	1歳	2歳	計
R 2年度	—	—	—	—	—	—	—
R 3年度	19 (26.0)	24 (32.9)	15 (20.5)	14 (19.2)	1 (1.4)	— (—)	73 (100.0)
R 4年度	158 (47.2)	89 (26.6)	61 (18.2)	27 (8.0)	— (—)	— (—)	335 (100.0)
R 5年度	204 (42.3)	144 (29.9)	100 (20.7)	34 (7.1)	— (—)	— (—)	482 (100.0)
R 6年度	166 (40.7)	108 (26.5)	92 (22.5)	42 (10.3)	— (—)	— (—)	408 (100.0)

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により相談室を中止した。

(イ) 会場別来所者数

(単位：実件数・%)

区分	岡崎げんき館	岩津市民センター	矢作市民センター	六ツ美市民センター	総合子育て 支援センター	交流センター 北部地域	交流センター 西部地域	地域交流センター 六ツ美分館	計
R 2年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—
R 3年度	73	—	—	—	—	—	—	—	73
R 4年度	—	—	—	—	—	54 (17.2)	226 (67.5)	55 (16.4)	335 (100.0)
R 5年度	—	—	—	—	—	67 (13.9)	291 (60.4)	124 (25.7)	482 (100.0)
R 6年度	156 (38.2)	—	—	75 (18.4)	—	76 (18.6)	101 (24.8)	—	408 (100.0)

(ウ) 相談内容内訳（延べ件数）

(単位：件)

区分	病気・ 症状	発育	発達	栄養		育児	歯科	事故防 止	予防接 種	各種事業 紹介	その他	計
				母乳・ ミルク	離乳食							
R 2年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
R 3年度	6	27	7	29	44	36	10			5		164

R 4 年度	16	114	30	186	40	62	9	3	2	6	7	475
R 5 年度	32	190	82	228	91	156	3	3	1	6	14	806
R 6 年度	46	135	67	225	102	174	2	2	1	6	18	778

(2) 電話相談

(単位：件)

相談内容	病気・症状	発育・発達	食事	育児	事故（誤飲・転落・やけどなど）	虐待	妊娠中・産後	思春期	医療給付事業関係	母子保健事業関係	その他	計
R 2 年度	67	79	117	119	10	32	5	—	256	1,709	21	2,415
R 3 年度	30	55	58	68	4	36	—	—	435	1,567	—	2,253
R 4 年度	48	35	59	53	3	9	—	—	460	1,638	4	2,309
R 5 年度	47	38	40	48	3	15	—	—	314	1,554	36	2,095
R 6 年度	21	24	17	38	1	1	—	—	285	1,498	39	1,924

※地区活動の保健指導としての電話相談は含まない。

5 岡崎市母子保健連絡協議会

(1) 目的

母子保健事業について総合的かつ効果的な推進が図れるよう、課題の検討や情報共有を行うことで、関係機関の円滑な連携と協力を確保する。

(2) 構成員

岡崎市医師会、岡崎歯科医師会、岡崎市民病院、開業助産師、岡崎市民生委員児童委員協議会、西三河児童・障害者相談センター、その他母子保健に関わる者

(3) 実施状況

実施日	内容	参加状況
8 月 1 日	令和 5 年度事業報告、令和 6 年度事業計画 要支援妊産婦の医療機関、助産所と行政との連携について 思春期教育の在り方について	17機関 25人